# 事務事業評価シート (評価実施年度: 平成27年度)

施策 I-2-1 売れる農林水産品・加工 上位の施策名称 品づくり

_	1.事務事業の目的	) • 概要	事務事業担当課長	農業経営課長	栗原 一郎	電話番号	0852-22-5392
	事務事業の名称	農業改良普及事	業				
	(1)対象	認定農業者や新規就農、賃	集落営農組織などの経営改善	善に意欲的な担い手や生	E産組織		
	(2)意図	担い手育成や産地づくり、	地域づくりを推進すること	とを通じて、本県農産物	の高品質化と安	定生産など農業生産	産力の向上を図る
1 1	・農業普及員が、栽 の活性化に資する。 と 競	音技術や経営管理の改善支持	援や関係機関との連携・調	整により、地域農業の記	果題解決を図り、	農業者の所得向上	、産地の持続的な発展、地域

## 2.成果参考指標

	七抽夕	担い手育成目標値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
(1)	担保石	201子月戊日标但	目標値		221	221	221	221	٨
成	• 定	新たな経営体育成数	実績値	181	193	214	256		
果	定義	初たる社合体自然数	達成率		87.30	96.80	115.90		%
参	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
考指	担宗石		目標値		0.00	0.00			
標	式•		実績値	0.00	0.00	0.00			
	定義		達成率		0.00	0.00			%

#### 3重業費

<u>U. F A A</u>		
	26年度実績	27年度計画
事業費(b)(千円)	20,356	24,389
うち一般財源(千円)	10,398	14,500

# 4.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況 ②改善策を実施した(実施予定、一部実施 む)	前年度の課題を踏まえた 改善策の実施状況
---	-------------------------

#### 5.評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

- 1名とH25に比べて10人、認定農業者の新規認定は84名で43人増大したが、集落営農組織の新規設立は1組織にとどまった。
- 新規就農者の確保・育成、認定農業者や集落営農組織等担い手の経営改善などにより、農産物を安定生産できる農業者の育成に努めている。
- 「あすっこ」や「シャインマスカット」の産地育成、「機械除草による水稲有機栽培」や「いちご無育苗栽培」の農業技術の普及、子牛育成マニュアルの推進等、 本県農畜産物のブランドづくりを支援している。

#### 6.成果があったこと(改善されたこと)

- ・就農希望者への相談対応から就農後のフォローアップ の一連の支援について取り組んだ
- の一度の又張について訳られた。 ・「つや姫」「あすっこ」「オリジナルメロン」「シャ インマスカット」「トルコギキョウ」など島根の顔とな る農産物の高品質化と安定生産など農業生産力の向上に 取り組んだ。
- ・ 産地ビジョンや集落ビジョンの策定を支援し、生産者 や産地の主体的な取組みや、地域の実情に即した担い手 の確保と育成に向けた取組みを関係機関と連携して支援 した。

### 7.まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

- ・生産者、栽培面積の減少による産地の衰退
- 新規就農者数が増加しており、普及部だけでの対応が困難になっている。

## ②困っている状況が発生している「原因」

- ・生産者の高齢化、後継者の不足、農産物の販売価格の低迷
- ・関係機関等の連携不足

## ③原因を解消するための「課題」

- ・新規就農者の確保に向けたサポート体制整備、収益を確保できる販売力強化
- JAしまねとの連携強化

- 8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

  ・産地の目指すべき方向を描いた産地ビジョンの策定を支援する等、JAや市町村等の関係機関と連携した担い手育成活動を継続していく。
  ・個別には、就農に向けた営農計画の策定や、就農後のフォローアップなどの支援や、販売面の支援ではマーケティング手法を用いた商品開発やコンセプト作りを支
- ・また、普及員に求められる知識や技術の分野が多様化しており、普及員の資質向上に努める。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既 存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいよう に、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れ となるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価(任意記載)